

「一体、政治家たちは前回の住民投票で何を学習したのですか？」

平成 27 年 11 月 17 日

● トップハンデさんからの質問

大阪ダブル選挙で「共産党とは是々非々だ」との西田氏の発言。しかし、柳本参院議員のあの行動……。いわゆる大阪都構想住民投票の時に、共産党の街宣車に自民党議員がマイクを握り、自民党の街宣車に民主党議員がマイクを握る。この行動が、僅差を生んだのではないか？本来ならそれなりの差をつけて反対多数になっていたのではないか？一体、あの住民投票で何を学習したのか？もう気が滅入ります。西田氏に質問です。大阪府知事選には「西田昌司」と書いてよろしいでしょうか？

● 西田昌司の答え

現在の大阪の状況は「維新 vs 反維新」といった様相になっていますし、大阪都構想の住民投票の際は自民党と共産党が共闘するという常識では考えられない現象が見られましたが、これは大阪都構想がそれほど酷い代物であったという証左ですし、橋下維新があまりに独善的な政治団体なので反維新側は維新をつぶすためには共闘せざるを得ないわけです。

橋下さんは前言を翻すのも全く平気な方ですし、橋下さんが右と言えば右、左と言えば左といった具合に、彼らの主張はころころと変わります。都構想の住民投票の選挙戦で橋下さんは「大阪を変えるラストチャンス」というキャッチフレーズを繰り返し、都構想に賛成するよう大阪市民を煽りに煽っていました。あれだけの莫大な費用を使って住民投票した結果、都構想は（僅差ではありましたが）住民によって否決されたのですが、ところが住民投票後のわずか3ヶ月後、今回のダブル選挙で都構想に再挑戦すると言

出すのですから開いた口が塞がりません。

最近、橋下さんはツイッターに「維新の党を解党し、残ったお金は国庫に返納する」と書き込みました。しかし、都構想の住民投票の際に橋下さんらは、テレビ CM や新聞折り込みチラシなどの広報費として大手広告代理店に 5 億円分もの発注をしています。広告代理店には未だに 5 億円が払われていないのですが、もし 5 億円を維新の党の政党助成金から返済するとなれば、6 億円ある政党助成金（維新の党の 2015 年の政党助成金は 26 億 6 千万円。政党助成金は 4 月、7 月、10 月、12 月の年 4 回に分けて交付され、10 月分は 6 億円）から 5 億円を抜き取って残りの 1 億円だけを国庫に返納するという話になってしまいます。橋下さんは「お金は全て国に返す」というクリーンなイメージを作り出すよう計算した上で書き込んでいるのですが、ここでも彼の詐欺的な手法が見て取れます。

橋下さんを大阪府知事候補に推薦したのは自民党と公明党でしたし、その結果、橋下さんは政界に躍り出ることになったのですが、橋下さんの出鱈目な振る舞いをたびたび見せつけられてしまうと、当初は橋下さんを応援していた自民党や公明党もだんだんと付き合い切れなくなってきました。政治における意思決定は単純な多数決によってはなりませんし、多数派が少数派を尊重しながら両者が熟議を重ねることによってなされるべきで、その熟議の場こそが「言論の府」たる議会なのですが、橋下維新のような全体主義的な集団が相手では言葉も通じませんし議論にもなりません。大阪市議会で一度否決された都構想を住民投票に持ち込む橋下さんは議会制民主主義を全く理解していませんし、このような方を「独裁者」と言うのです。

先日、維新の党から橋下さんらが離党し、橋下さんが代表を務めるおおさか維新の会が結党されましたが、橋下さんにはもう付いていけないという議員が維新の党に多く残りました。橋下さんに付いていった大阪系の議員も、橋下さんの推薦を受けてこれまでの選挙に勝ってきたので橋下さんから離れるわけにはいかないという事情もあったようです。橋下さんはおおさか維新の会の結成の会見時に「これからは大阪府知事選挙、大阪市長選挙のダブル

選挙もありますし、なんと言っても現・維新の党が偽物の維新になってしまいましたから、もう一度本物の維新を作る必要があります」と発言していますし、おおさか維新の会の結党は今回の大阪ダブル選挙の票稼ぎの意図も感じられますが、このような分裂騒動で迷惑しているのは大阪府民・市民です。

現在の世論調査によると、市長選は五分五分であり自民推薦の柳本さんには維新公認の吉村さんを引き離すよう期待していますが、一方で府知事選は相手が松井さんということもありますし、自民推薦の栗原さんは知名度が劣るがゆえに苦戦を強いられています。世論調査の詳細を聞いて私はびっくりしたのですが、共産・民主・公明支持層は自民推薦の柳本さんと栗原さんを支持しているのに対し、自民支持層は柳本さんを支持する一方で松井さんを支持しているというのです。つまり自民支持者がキャスティング・ボートを握っているわけで、自民支持者が自民推薦の栗原さんを劣勢に立たせているのは非常に情けなく思います。橋下さんと安倍総理が親しいかの印象を持っているのかどうか知りませんが、自民支持者が橋下さんの盟友である松井さんを応援するという奇妙な状況となっているのです。

今度、私は府知事候補の栗原さんの応援演説のために大阪に入りますが、この演説時には私の提唱する「新幹線ネットワークによる近畿メガリージョン構想」をはじめとして（二重行政を解消するという都構想のようなちまちました話ではなく）真に近畿の発展につながる政策を訴えたいと思います。近畿メガリージョン構想のようなスケールの大きな構想は野党の理解・協力が必要ですが、自民支持者がまずは目覚めなければなりません。皆さんには一人でも多くの大阪在住の自民支持者にこのことを伝えてくださいますようお願い申し上げます。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>